



株式会社カネカ（バイオマス熱利用、バイオマス燃料製造）

事業内容

補助事業の名称	（株）カネカ高砂工業所におけるバイオガス燃料製造設備及び工場生産ライン用の熱源設置事業
設置場所	株式会社カネカ 高砂工業所西工場（兵庫県高砂市）
補助事業の概要	医薬品・食品・バイオポリマー等の発酵生産の過程で発生する余剰バイオマスを含む排水を嫌気処理する事により、好気処理に必要な投入電力量を削減し、かつ発生するメタンガスをボイラーで燃焼して得られる蒸気を工場生産ラインで利用することにより総合的な省エネルギーを図る。
事業年度	平成28～29年度

給湯	空調	規模・能力	バイオマス熱利用： バイオマス燃料製造：	熱供給能力 4.5GJ/h ガス発生能力 98Nm ³ /h
融雪	他	年間総発熱量	バイオマス熱利用： バイオマス燃料製造：	18,800GJ 20,885GJ

補助対象経費（千円）		補助金額（千円）	
熱利用	35,900	熱利用	11,967
燃料製造	687,900	燃料製造	229,300



導入効果
削減コスト（年間）31,916千円
化石燃料の削減率 6%



設備全景



反応槽



バイオマスボイラー

◆事業の特徴

工場での生産量拡大において、既存と同じ好気処理方式では広大な用地が必要で、必要曝気動力増加により電源も増強必要、かつ発生する汚泥処理の高コスト化がネックとなっていたが、嫌気処理設備を導入することで、曝気エネルギーを無くし、余剰汚泥発生を大幅に抑制することができる。

排水に含まれる有機物を一部をメタンガスとして取り出せることから、排水処理からエネルギーを生み出すことができる「省」・「創」エネな資源循環型排水処理法。回収したメタンガスは精製後、ボイラーにより蒸気として生産工程に利用。

従来の好気処理と比較すると、曝気装置の機器点数削減によるメンテナンスコストや臭気対策費を圧縮。また、汚泥発生量が少なくなり引き取り費用を削減。コンパクトな処理設備となったため、余った用地の有効利用が可能。